

これからの町づくり

【答】 計画の進捗、成果を検証



藤木 匠 議員

問 少子高齢化により人口減少が大きな社会問題となっている。人口減少に歯止めをかけるには、住宅開発や企業誘致が求められると思う。

宇美町人口ビジョンも発表される中、その進捗状況や方法、展開などは。

政策経営課長

宇美町第6次総合計画を踏まえ、昨年度に人口ビジョンと総合戦略を策定している。

人口ビジョンは、2060年には推計で約2万5千500人になるが、将来に向け目指すべき施策を展開することにより、これを3万人以上に維持することを展覧している。

進捗状況は、第6次総合計画及び総合戦略にそれぞれ目標指標と数値目標を掲げている。毎年度指標をもと

にPDCAサイクルによって客観的に評価し計画の進捗状況や成果を検証することとしている。

現在、各課から提出された進捗管理シートをまとめている段階である。外部有識者懇談会で意見聴取を行った後、政策経営会議で決定し、公表したい。

問 総合戦略では、地域経済の活性化と雇用確保を図るため企業誘致を進め、既存企業の体質強化を促進している。

企業誘致を図るための優遇措置、優遇制度の取組状況、方法、内容などは。

まちづくり課長

企業、県からの問い合わせや照会に情報を提供している。

現時点においては、奨励制度は設けていな

い。

近隣の市町村の制度を研究しているが、できるだけ早く、優遇措置や制度を整備したいと考えている。

問 開発指導要綱の見直しが必要では。

都市計画課長

平成22年の見直しから数年が経過し、現在の社会情勢に即していない点や明確な基準とは考えにくい点などがあり、見直しを検討している。現在、関係課との協議、調整を図っている。



町内に建設中の大型物流施設



黒川 悟 議員

オリパラ教育の推進を

答 関係団体等の周知に取り組む

問 不登校やいじめ、貧困などの多様化する問題への対応は、子どもたちと向き合う時間が大事だと思う。

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門スタッフの配置状況は。

学校教育課長 中学校では、スクールカウンセラーを各学校に1名配置。

町の教育相談室を原田小学校内に設置し、臨床心理士2名配置。

不登校対策で町にスクールソーシャルワーカーを1名配置。

子どもや保護者の抱えている問題を聞き取り、解決のための環境改善を行っている。

問 専門知識を持った部活動の顧問の状況は。

課長 宇美中学校を例にすると、15の部活が

あり、経験がある顧問は53.3%、経験のない顧問は46.7%。他の中学校も変わらない状況。

問 部活の充実のためにも、地域の指導者や引退したアスリート等、地域の幅広い協力を得て、指導力をアツブする事が大事だと思うが。

課長 教員が指導できない部活も多くあるため、町の委嘱を受けた教員外指導者が、現在14のクラブで15名活動している。

問 今後広まるであろうオリパラ教育の推進は。

社会教育課長 オリンピック、パラリンピックのテーマ（精神・スポーツ・文化・環境）とアクション（学ぶ・見る・する・支える）

を組み合わせた多彩な教育プログラムが先行実施され始め、具体的な方向性が示されれば積極的に取り組む。

問 4年後の、町制100周年に向け、町の展望は。

町長 オリンピック開催と町制100周年が重なり、大変貴重な縁を生かした取組ができればと思っている。



全国大会で入賞